

日本ケミコンがシンガポール子会社に関する訴訟判決を公表－今後の業績・財務影響を注視

以下は、日本ケミコン株式会社（証券コード：6997）の「シンガポールにおける当社シンガポール子会社に対する判決に関するお知らせ」についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は 24 日、シンガポール子会社に対して Dyson Manufacturing Sdn. Bhd. が提訴していた訴訟について、シンガポール国際商事裁判所が当社子会社へ支払いを命じる判決を下したと発表した。これにより、当社子会社には 92.7 百万英ポンド（約 193 億円）の支払責任が生じている。加えて、3.1 百万英ポンド（約 6 億円）の範囲内で、原告側弁護士費用や遅延損害金などの負担額が今後決定される見通しである。これに対し、当社子会社は控訴を検討する意向を示している。また、当社は本判決に伴う特別損失や業績への影響を精査中であり、見通しがつき次第速やかに開示するとしている。なお、本件は原告グループが 22 年 6 月以降に製造した一部製品の不具合率上昇について、当社子会社から購入した部品に原因があると主張して損害賠償を求めているものである。
- (2) 本業の業績は回復傾向にあるものの、27/3 期第 1 四半期末の自己資本 605 億円などに照らすと、今回発表された支払責任は多額である。現時点で業績への影響額は未確定であるが、財務基盤に大きな影響を及ぼす可能性がある。JCR は、本件の帰すうや最終的な損失額、資金対応方針、業績・財務への影響などを確認の上、格付に反映していく。

（担当）関口 博昭・長安 誠也

【参考】

発行体：日本ケミコン株式会社

長期発行体格付：BBB- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル